

飲酒運転撲滅宣言企業 株式会社 セビア



○ 株式会社 セビア 様の紹介

ゼロ

『飲酒運転0の社会を目指す!』

北九州市(本社・門司工場)・福津市・鹿児島県内で青果卸売業を営んでおります。全国の市場、仲卸、生産者との強いつながりでコロナ禍・円安などの厳しい状況の中、安全・安心・美味しいをモットーに青果物の安定供給に日々奮闘しています。



○ 飲酒運転撲滅に向けた取組事例

① <<飲酒運転撲滅のための管理体制の整備>>

- ・社内で飲酒運転防止規定を整備しています。

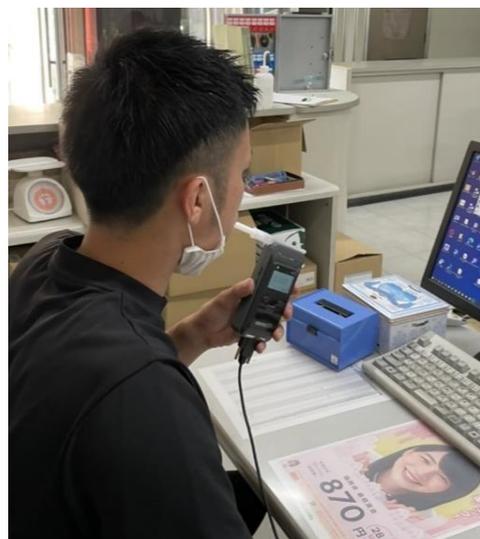
アルコールチェッカーで運転前の検査を徹底!

② <<従業員等への広報啓発活動>>

- ・休憩所・社内の掲示板に飲酒運転撲滅運動のポスターを貼っています。
- ・上記飲酒運転防止規定においても、飲酒運転の基準値や濃度などを載せ、社員・パートへの周知を徹底しています。

③ <<従業員等の業務上飲酒運転を防止するための取組>>

- ・令和4年10月から義務化を予定されていたアルコール検査器によるチェックを前倒して、5月から実施しています。
- ・アルコール検査と同時に、免許証の有効期限切れも併せてチェックできるようにしています。
- ・機械での検知のほか、顔色や呂律などにも常に気を配り、飲酒運転はもちろん体調不良による運転をすることのないように取り組んでいます。
- ・アルコール検査をしなければ、社用車のキーを渡さないようにしています。
- ・社内の懇親会等で飲酒を予想される日は全員が自宅に車を置きに帰り、飲酒後車中泊などは禁止とし、時間をつぶして乗って帰ることのないように徹底しています。
- ・前日接待などで深夜まで飲酒した翌朝の出社は連絡の上、時差出勤としています。



④ <<従業員等への社内研修の実施>>

- ・前出の飲酒運転防止規定を年に一度回覧し、社員・パートへの意識付けを行っています。

飲酒運転撲滅ステッカーやポスターを活用!

⑤ <<その他の取組>>

- ・飲酒運転撲滅ステッカーやのぼり旗の活用により、飲酒運転をしない・させない意識を社員に周知徹底しています。
- ・毎月25日を飲酒運転撲滅運動の日と定め、朝礼・昼礼でのアナウンスをしています。
- ・8月25日から31日までの飲酒運転撲滅週間の期間にも、安全規定を再回覧しています。
- ・今後の取組として、マンネリ化を防ぐために社外から講師を招き、社員全員にアプローチをするとともに、社員全員分のステッカーを作成し、配布する予定です。



○ 株式会社 セビア 様にインタビューに答えていただきました！！

Q 1 飲酒運転撲滅のための取組を始めたきっかけは何ですか？

A 昨年、福岡県飲酒撲滅宣言企業の登録をさせていただきました。

様々な取組を行っている企業様に刺激を受けまして、是非我が社でも飲酒運転による事故を無くす取組に参加したいと強く思いました。

取り組むに当たって、飲酒運転についてもう一度良く考えたり調べたりしながら、悲惨な事故を一件でも減らしたいと痛感し、取組を始めました。

Q 2 飲酒運転撲滅のための取組を行うようになって、従業員に意識の変化はありましたか？

A アルコール検査機を導入し始めの頃は、毎日出るときと帰るときに検査を行うのを面倒がる社員もいましたが、飲酒運転について研修など行ううちにスムーズに実行するようになりました。

また、社内でのバーベキュー大会の際も、社員が飲酒運転禁止ののぼり旗を会場に自主的に掲げ、絶対に飲酒運転はダメだと周知徹底していたのが印象的でした。

社内バーベキューの時
も、飲酒運転撲滅の意
識を忘れません！



Q 3 飲酒運転撲滅に向けたメッセージや今後取り組んでいきたいことをお聞かせください。

A 令和4年8月25日に開催されました福岡県飲酒運転撲滅県民大会に参加を致しまして、「何年時が経とうと悲しみは消えない、心から笑うことは無くなった」というご遺族のスピーチは非常に心が痛みました。

一企業として、個人としてできることは少ないですが今回学んだことを社内で繰り返し呼び掛け、社員一人一人の理解を深めていこうと思いました。

「飲酒運転はゼロが当たり前！」

簡潔な言葉ですが非常に深い言葉です。この社会から飲酒運転がゼロになる日が来るまでいろいろな方面から努力を惜しまず啓発していきたいと思えます。